

## 平成31年度事業計画書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人akta

## 1 事業実施の方針

平成31年度は主にゲイ・バイセクシュアル男性の性の健康の増進を目的とするプログラムを、厚生労働省、地方自治体、医療機関、研究機関、NGO等と連携しながら展開した。具体的には、無料匿名のHIV検査キットの配布、全国でのA型肝炎流行についてのアラートの発信、都内保健所でのHIV検査会の実施、滞日外国人への支援的メッセージの発信、学齢期の青少年への性の健康に関する資料展開などを実施する。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
多様なセクシャリティとセクシャルヘルスの認知と理解を図り、だれもが暮らしやすい街づくりのために行うアドボカシー事業	<b>青少年向け勉強会</b> HIV/エイズと性感染症予防のためにHIVの現状を伝えて、性行動及び検査行動の変容を促すセミナーを開催（財団法人東京都結核予防会委託事業）	6月/9月/ 11月/12月/1月 /3月 年6回	新宿区	50人	HIV/エイズに関心を持つ若者80人×6回。	741.4
	<b>風俗店オーナー及びコミュニティ向け勉強会</b> コミュニティのオピニオンリーダーに向けてHIV/エイズ、性感染症予防啓発に参加を促すセミナーを開催する（財団法人東京都結核予防会委託事業）	6月/8月/ 12月/1月 年4回	新宿区	20人	風俗店経営者、スタッフ、ならびに店舗利用者、不特定多数。	341.4
誰でも自由に利用できる情報センターを運営する事業	<b>HIV情報センターのコミュニティ活動の支援</b> 公益財団法人エイズ予防財団の運営する情報センターに検査・相談・支援等の情報を提供し、並行して周辺のMSM向け商業施設とのコミュニケーションを図る	随時	新宿2丁目	5人	新宿2丁目を訪れるMSM（年間来場者数1万人）、不特定多数。	0.0 (注1)
相談や支援を視野に入れた、HIV/エイズや性感染症の予防啓発及び検査の促進を行う事業	<b>HIV/エイズ検査促進のための資料の制作</b> 都県内保健所等の検査相談施設の情報を発信。（東京都委託事業、千葉県委託事業、埼玉県委託事業、厚生労働省委託事業）	随時	法人事務所	10人	HIV/エイズ、性感染症の検査に興味を持つMSM、不特定多数。	3490.3
	<b>HIV/エイズの予防・検査・支援に関する情報提供</b> （厚生労働省委託事業）	随時	法人事務所 およびウェブサイト上	10人	HIV/エイズに興味を持つMSM、不特定多数。	3600.3
	<b>HIV検査会の企画・運営、検査キットの配布</b> （厚生労働科学研究費補助金）	4月以降、 毎週月曜日	コミュニティセンター akta・他	10人	HIV/エイズに感染機会を持つMSM、不特定多数。	0.0 (注2)

研究、医療、教育、及び行政の関連機関との連携、ならびに様々な個人、NGO、商業施設、企業とのネットワークの構築による情報を集約・発信する事業	<b>HIV/エイズの検査促進のための意見交換会の開催</b> 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の各保健所感染症担当者との意見交換会を開催し、検査体制に関する情報の集約・発信を行う	10月	法人事務所	10人	HIV/エイズ、性感染症の検査担当者、ならびに受検者 不特定多数	1000.0
心に届くプログラムの開発、及び啓発ツールの企画・制作事業	<b>HIV/エイズ、性感染症の予防のための啓発ツールを制作する</b> MSMを対象として、予防、検査、支援等を具体的に解説した資料を制作する	2月	法人事務所	5人	HIV/エイズ、性感染症の予防に興味を持つMSM 不特定多数	150.0
	<b>セクシャリティの多様性(Diversity)の周知及びHIV/エイズに関する正しい知識を普及推進する</b> LGBTをはじめとする様々なセクシャリティの理解を促す事で、偏見や差別のない社会を実現していく	随時	地方自治体のHIV検査会場、台東区の商業施設、埼玉県、千葉県、東京都の教育機関	5人	東京都の高校の養護教諭、学生を中心に広く一般市民 不特定多数 台東区の商業施設を訪れるMSM	150.0
顔の見える啓発ツールの配布とそれに伴うコミュニケーション事業	<b>風俗店アウトリーチ</b> HIV/エイズ予防啓発資料を風俗店へ配布しつつ、並行して店舗経営者、スタッフとコミュニケーションを図る(財団法人東京都結核予防会委託事業)	毎月、第1土曜日に実施 年12回	新宿、大久保、台東区、豊島区、渋谷区、ロンドン(イギリス)、台北(台湾)	5人	風俗店経営者、スタッフ、ならびに施設利用者 不特定多数	450.0
	<b>飲食店アウトリーチ</b> HIV/エイズ予防啓発資料を、バー、カフェ等の飲食店へ配布しつつ、並行して店舗経営者、スタッフとコミュニケーションを図る	毎月、第1金曜日に実施 年12回	新宿、大久保、台東区、豊島区、渋谷区、ロンドン(イギリス)、台北(台湾)	5人	飲食店経営者、スタッフ、ならびに施設利用者 不特定多数	450.0

※ MSM[Men who have Sex with Men]: 社会疫学用語、一般的に「男性と性交渉を持つ男性」と翻訳される。ゲイ・バイセクシャルの男性を含む、より広範囲な男性を指す。

※ LGBT: レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの略語。セクシュアルマイノリティ。

(注1) 「HIV情報センターのコミュニティ活動の支援」は厚生労働省より公益財団法人エイズ予防財団が受託した事業への協力・支援であり、その収支は公益財団法人エイズ予防財団の会計となるため、特定非営利活動法人aktaの事業収支は発生しません。

(注2) 「HIV検査会の企画・運営、検査キットの配布」は厚生労働省よりMSM研究班が受託した事業への協力・支援であり、その収支はMSM研究班の会計となるため、特定非営利活動法人aktaの事業収支は発生しません。